

## IMPカートチャレンジ第2戦

### IMP-SSクラス (参加6台)

### 井頭モーターパーク

フレーム : birel R31

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BRIDGESTONE SL07

エンジニア : 加藤 真 (レーシングサービス エッフェガーラ)

押しがけ : 平賀 勇輝 (チーム エッフェガーラ)



#### ◆今大会にむけての目標、意気込み

カートに乗るのは前回の開幕戦以来で約1ヶ月のインターバルがありました。この間マシンを全バラにしてシャシーもエンジンもばっちりメンテナンスしてきました。

ただしタイヤだけは2レース落ちの中古しか残っておらず特にTTは厳しい戦いになると予想しましたが、最終的に勝てる自信があったので迷いなくこのタイヤで今大会に挑みました。

#### ◆レース結果

- ・TT 2位 (30.664秒)
- ・予選(各10周)
  - 第1ヒート 3位
  - 第2ヒート 3位
- 決勝グリッド 3位
- ・決勝(20周) 1位

#### ◆シリーズランキング

- 1位 (40ポイント)
- 第2戦終了時点

#### ◆レースレポート

やや自信のなかったTTはトップから約0.1秒遅れの2位。小さなミスがなければポールも狙えたはずと悔やまれましたが、まずまずの結果でした。

決勝ポールを狙いにいった予選。しかし1、2ヒートともアウト側スタートで1コーナーのポジション取りが上手くいかず、どちらもスタートで大きく順位を落としてしまいました。その時点で予選ヒートは作戦変更。無理をせず、決勝3位スタートになるべくペースを考慮しながら終了。

決勝はイン側スタートで予定通り2位に順位を上げた後は、トップの背後につきプレッシャーをかけ続ける展開となりました。中盤、相手のミスを誘ったS字の進入でトップにたつとその後は他の追従を許さず優勝できました。

#### ◆レースを終えて

今回は優勝できたものの多くの反省点があるレースでした。

まずはTTでの集中力。コーナーでエンジン回転を落し過ぎてしまうミスを繰り返してしまいました。マシンの状態を把握し切れていない、乗り切れていない証拠です。

最もいただけないのが、アウト側スタートの駆け引きの下手さ。ポールに3番手がぴったりとついている状態で自分の分が悪いと判断した瞬間、順位をひとつ落としてでもイン側に入って自分の居場所を確保しないと大きく順位を下げることになってしまいます。今回は6台という参加台数に救われましたが、台数が多くて実力の拮抗しているレースではその時点で戦線離脱となる可能性大です。

あとはパッシングする際は1度で確実に成功させることです。今回決勝で前車との間合いを誤りブレーキング時に接触し追い抜きに失敗した場面がありました。これではロスタイムを背負うばかりか、警戒されると次から抜きにくくなります。このような反省項目を次回は少しでも改善していきたいと思えます。